

平成23年度 施策達成度評価シート (平成22年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	75	いつでも信頼される上水道事業の推進

施策主管部	上下水道局	評価者(施策統括マネージャー)名	武田 路可
-------	-------	------------------	-------

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
上水道施設利用者	安全な水が安定的に供給される

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
上水道普及率	%	↗	97.50	97.60	97.50	97.60	97.80
水道管耐震化率	%	↗	20.20	22.00	20.90	23.00	26.00

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
上水道普及率	青森市 99.5% 秋田市 (99.1%) 仙台市 (99.4%) 山形市 98.0% 福島市 96.5% ※( )内はH22実績値未算出のためH21実績値を記載したもの
水道管耐震化率	青森市 9.8% 秋田市 (9.4%) 仙台市 (24.1%) 山形市 (15.3%) 福島市 2.4% ※( )内はH22実績値未算出のためH21実績値を記載したもの

3 達成度評価結果

取組内容と成果、成果を得られた要因	盛岡市が抱えている地理的な条件の中で、郊外部や標高が高い地域への給水は費用対効果の点と維持管理の面で困難が伴っており、未給水地域の住民要望を踏まえた未給水地域解消事業を進めたことにより、水道整備地域は着実に増加したものの、上水道普及率は、目標に至らなかった。 また、水道はライフラインとして、震災時においても安定した給水をしつづけることが求められ、本市においては平成5年から耐震管の使用を開始し、以来震度7の震災にも対応可能な管路の割合である水道管耐震化率は着実に増加しているが、こちらも目標に至らなかった。 一方、漏水対策や水質維持による安全でおいしい水の安定供給や水道料金の確保、経費の削減による経営の健全化の面で一定の成果をあげている。
翌年度以降の課題、その要因	旧玉山村との合併に伴い、上水道普及率も水道管耐震化率も一時的に低下した。玉山区においては山間部に人口が点在している地域があることや既に整備済みの管路が耐震管でないことなどがあり、目標値見直しの検討も必要である。 管路の耐震化については国庫補助の導入を図り、計画的な老朽管の敷設替え及び浄水場水系連絡管の整備により耐震化を進めることとしているが、新たな投資の原資となる給水収益の確保に課題があり、財政状況も勘案しながら、整備を重点化するなどの検討が必要となっている。





